

7. 評価指標及び目標値の設定

基本方針に対応した評価指標と目標値を選定し、自転車ネットワーク計画の進捗を評価する。

表 7-1 評価指標と目標値

| 視点 | 路線選定基準 | 評価指標 | 目標値 | | | 使用データ | |
|-----------------|-----------------------------|---|---|-------------|--------------|--------------|-----------------|
| | | | 現況 | 5年後 | 20年後 | | |
| 自転車ネットワーク構築の効率性 | 自転車通行環境整備状況 | 自転車通行環境整備率 ^{※1} ・自転車ネットワーク計画延長あたり整備率 | 1% | 50% | 80% | 整備延長集計 | |
| 基本方針1 | だれもが安全・安心、快適に自転車を利用できる環境の創出 | 自転車事故危険箇所 高校から指摘があった危険箇所 高校へアクセスする路線 | 自転車事故件数 ^{※2} ・人口1万人あたり事故件数 | 11.5件 | 10.0件 | 8.5件 | 交通事故統計（静岡県警察本部） |
| 基本方針2 | 日常生活における自転車の利用促進 | 日常主要施設（行政施設、商業施設、病院）へアクセスする路線 沼津駅から3km圏内の駅アクセス路線 | 鉄道端末交通自転車分担率 ^{※3} ・他市町から沼津市への通勤・通学者の鉄道端末交通手段分担率 | (19.2%) | 22.0% | 25.0% | 国勢調査 |
| | | | 自転車利用者の満足度 ^{※4} ・満足5、やや満足4、普通3、やや不満2、不満1の加重平均 | 3.1 | 3.3 | 3.5 | アンケート調査(高校、企業) |
| 基本方針3 | 観光・地域資源を活用した自転車の利用促進 | 観光施設へアクセスする路線 サイクリングマップの路線 (港周辺、狩野川、ぐるっと“ぬまいち”) | サイクルイベント参加人数 ^{※5} ・市内をサイクリングコースとして選定したイベントへの参加人数 | 369人 | 750人 | 1,500人 | 沼津市調査 |
| | | | バイシクルピット数 ^{※6} ・市内に設置されたバイシクルピットの設置数 | 10か所 | 30か所 | 50か所 | 沼津市調査 |
| | | | サイクルリング拠点施設利用者数 ^{※7} ・「NUMAZU サイクルステーション 静浦東」の利用者数 | H29年度データを採用 | 10%増(H29年度比) | 30%増(H29年度比) | 施設における集計結果 |

※1：自転車通行環境整備率には自転車歩行者道整備を含まない

※2：自転車事故件数の現況値は平成28年計。人口は平成28年10月末時点での住民基本台帳人口

短期目標は「第10次沼津市交通安全計画」の交通事故件数の目標値(H32)/現況値(H27)=1,700/1,950=0.87を考慮

※3：現況の分担率は平成22年国勢調査、5年後は平成32年、20年後は平成42年の国勢調査

※4：現況の満足度は自転車通勤・通学している企業従業員・高校生へのアンケート結果による

※5：現況の参加者人数は平成28年度データ

※6：バイシクルピットとは、修理用工具や空気入れを無料で借りられ、休憩もできるサイクリストのための施設で、現況値はH29.3の設置数

※7：「NUMAZU サイクルステーション 静浦東」は平成29年開設したグループサイクリングのパーク&ライド拠点施設